

日本国憲法（抄）

第十四条すべての国民は、法の下に平等であつて、人権信条、性別、社会的身分又は、門地により、政治的又は、社会的関係において差別されない

こやま地区 同推協だより

— 第 14 号 —

2007年（平成19年）2月26日

編集・発行

湖山地区同和教育推進協議会
〒680-0941 鳥取市湖山町北6丁目334
TEL・FAX (0857) 28-1017



12/5 ハンセン病国立療養所 長島愛生園にて

「人間回復の橋」とも言われる長島大橋を渡り、閑散とした地域へ足を降ろしました。受付を通り、バスで長島愛生園歴史館へ向かう途中、瀬戸の穏やかな風景が続きます。こんな環境のよい場所です、とてもショックな歴史

ハンセン病国立療養所長島愛生園を訪ねて

湖山地区同推協推進員 尾崎 恵

史を目にしました。「ハンセン病」は当時、移る病気として恐れられ、国立療養所として長島愛生園を開設し、そこへ患者を隔離したのです。鳥取県も無らい県運動に参加し、強制収容させたいとい

「療養所に納骨堂があるのはおかしい。だが、無縁仏にするわけにはいかない」と話されました。今では、多くの訪問者がお供えをしてくださり、年中花が絶えないそうです。愛生園自体、偏見・差別の解消、真相究明、在園保障など、まだまだたくさん問題を抱えていると伺います。早期解決を願うばかりです。



長島愛生園 自治会館にて

最後に職員の方は、「今後、病気偏見をしないようにしてください。根強く長引いた原因は、社会一人ひとりの責任です」とくくられました。三年前、熊本のホテルでハンセン病療養所入所者の宿泊拒否が社会問題になりました。私は、まだまだ、勉強が必要だと感じました。長島愛生園の道路脇には、視覚障害者用にラジオが設置してあります。自治会館は、きれいに掃除してあり、すれ違う方はみな挨拶を交わしてくださいました。以前は、園内通貨しか使えなかったが、今は一般のバスが通り、自由に行き来できます。私は、生活していらっしゃる皆さんの幸せを祈らずにはいられませんでした。

平成18年6月9日 湖山地区で初めて同推協の協力員が任命委員されました。その時の説明会



平成18年度の取り組みを振り返って

湖山地区同和教育推進協議会

会長 飯田 寛 司



鳥取市地区同推協連の副会長に任命された湖山地区同推協会長の飯田寛司氏（右）

人権問題を考えるとき、最も人権が侵害されていると思われれる事象は、尊い人命が奪われることではないかと思えます。時に、現在のわが国の状況を見ると、毎日のこどく殺人事件や親の虐待による死亡事件、いじめによる自殺、飲酒による交通事故死亡事故など、枚挙に暇がないほどマスコミ報道がなされています。しかも、残忍な方法での事件が増大してきているよう

に思います。わが国は「人間の心」がいつから地に落ちたのでしょうか。TVのニュースや新聞記事を読むにつけ、心が痛みます。とくに、子どもや幼児がその犠牲になっている事件・事故があまりにも多すぎます。さて、近年人権問題に関する関心も高まり、いろいろな人権課題に取り組むようになって来たことは喜ばしいことであり

い、心の問題なるが故に困難さを伴います。今年度の取り組みを振り返ってみますと、今年度計画の各町区の小地域懇談会は、予定通り開催できました。副区長さんや協力員にお願いし、区長さん共々組織的に協力いただいたことに感謝しております。また、人権講演会については、今までにない多数の参加者を得て、大変盛んな研修会にしていただきました。また、県や市の研究会への参加、教育関係連絡協議会の開催等、内容の濃い研修が出来たと思っております。



11/29 第2回公民館人権啓発推進事業

「人権問題の動向とわたしたちの暮らし」鳥取県同推協 会長 宇山 眞氏



湖東ブロック同推協研究会

「最近の鳥取市における差別事象とその特徴について」部活解放同盟鳥取市協議会 書記長 磯部 一章氏



第1回推進員研修会

「これからの人権教育と社会啓発」徳島県北島町立北島中学校教諭 講師 森口健司氏（国府町民ホールにて）

平成十八年度 湖山地区同推協事業実施状況

- 5月2日 同推協常任評議員会
- 5月8日 湖山地区同推協総会 演題「もつとすすんでいくための」
- 講師：鳥取市人権情報センター 主任研究員 坂根政代氏
- 5月13日 鳥取市同推協総会
- 5月19日 鳥取市同推協総会
- 6月9日 地区同推協協力員説明会
- 6月16日 第1回公民館人権啓発推進事業 演題「みんなのいのち」
- 講師：野の花診療所 院長 徳永 進氏
- 6月24日 第1回推進員研修会 演題「これからの人権教育と社会啓発」
- 講師：森口健司氏
- 7月26日 第2回推進員研修会 演題「同和教育から人権学習へ」
- 講師：大山町教育長山田晋氏
- 7月30日 湖山地区小地域懇談会（コクヨ前）
- 8月2日 部活解放鳥取市研究会
- 8月8・9日 部活解放鳥取市研究会
- 8月15日 湖山地区小地域懇談会（駅前1、2区、大石橋）
- 9月9日 湖山地区小地域懇談会（南団地）
- 9月20日 第3回推進員研修会 演題「あしたの元気にああれ」
- 反差別人権研究所みえ主任研究員
- 講師：松村智広氏
- 9月30日 湖東ブロック同推協研究会 演題「最近の鳥取市における差別事象とその特徴について」
- 講師：部活解放同盟鳥取市協議会 書記長 磯部 一章氏
- 10月15日 湖山地区小地域懇談会（南二丁目南）
- 10月17日 湖山地区小地域懇談会（新川）
- 10月25日 第4回推進員研修会 「はじめての部活問題」
- 講師：角岡伸彦氏
- 11月11日 湖山地区小地域懇談会（松ヶ丘）
- 11月16日 湖山地区小地域懇談会（さかえ・農高南）
- 11月29日 第2回公民館人権啓発推進事業
- 演題「人権問題の動向とわたしたちの暮らし」
- 鳥取県同推協 会長 宇山 眞氏
- 12月5日 第3回公民館人権啓発推進事業 現地学習会
- ハンセン病国立療養所 長島愛生園
- 1月10日 湖東ブロック地区同推協推進員研修会
- 演題「差別のない明るい地域づくりをめざして」
- 講師：鳥取県部活解放研究会 所専門員 吉岡悟志氏
- 1月26日 保・幼・小・中・地区同推協連絡協議会

人権教育研修会を振り返って



鳥取市人権情報センター
主任研究員 坂根 政代氏

湖山地区同推協総会

五月八日、湖山地区同推協総会が湖山地区公民館で開催されました。鳥取市人権情報センター主任研究員の坂根政代さんを講師に招き、「もつとすてきになるために」と題して講演をしていただきました。「部落問題から学んだことは、人が人として誰もが大切にされていくべきである」ということをお話しされました。



野の花診療所
院長 徳永 進氏

人権啓発推進事業

六月十六日、第一回公民館人権啓発推進事業として、野の花診療所院長の徳永進氏を講師に招き、「みんなのいのち」と題して講演会が開かれました。過去に類がないほど会場内は多くの人の参加をいただいた。徳永氏は、医師から見た「いのち」を題材にした人権をテーマにわかりやすくお話しされました。



鳥取県部落解放研究所専門員
吉岡 悟志氏

湖東ブロック同推協推進員研修会

一月十日、千代水地区公民館において湖東ブロック地区同推協推進員研修会が開催されました。演題「差別のない明るい地域づくりをめざして」と題して、講師に鳥取県部落解放研究所専門員の吉岡悟志氏を迎え、様々な心理テストを交えながら講演していただきました。最後に「社会の変化とともに人権のとらえ方も変わっていく、人権教育はエンドレスである」と結ばれました。



1/26 幼保小中連絡協議会にて
推進員の塩坂さん(右)と尾崎さん(右から2人目)

今、湖山地区でも、小地域懇談会が順番に行われています。こういう言葉があります。「寝た子を起さず、そつとしておけばそのうちなくなる」本当でしょうか。そつとしておけばそのままでなくなりません。誤った考えの人が減っていないかそうです。差別問題を解決するためには、歴史を知り、また、実態を知

た上で、話し合いが必要なのではないでしょうか。あとは自分自身でできることを考えてみたいと思います。講演会でこんな記事がありました。目の前で空き缶のポイ捨て(最近ではポイ置き)を見ました。女の子でした。注意しました。でもこれが怖い人だったら知らん顔したかも。空き缶一個で張り倒されたらたまりません。できる範囲でがんばらばいい、それから範囲を広げていけばいい。少し肩が楽になりました。最近マスキミの報道で、高齢者や子どもの虐待問題が目につきます。近くに部落問題で悩んでいる人がいるかもしれません。近所同士、声を掛け合ったりして、少しでも私たちの住んでいる町が今以上に住みやすい町になればいいと願っています。

- ①保護者・職員の同和問題研修会への参加
- ②保育参観での講演会やグループ討議など
- ③同推協より「こだま」の発行
- ④同推協の役員会
- ⑤市保連同和保育研修会などを実施している。

委員が立ち上がりました。本年度は、「広げよう」を活動方針として、①牧師先生を囲んでの座談会②ビデオ上映会③愛読書を持参しての座談会④講演会「メディアとのかかわり」⑤講演会「こどもと絵本」を実施しました。しかし、役員のなり手が少ないのと、参加者が同じメンバーしか来ないのが今後の課題として上げられます。また、人権・同和保育とい

子どもの人権に興味を示す保護者

湖山地区幼保小中・地区同推協連絡協議会
暗いイメージを払拭させたい

一月二十六日、湖山地区公民館において同地区に所在する保・幼・小・中・地区同推協人権同和教育局の連絡協議会が開催されました。それぞれの学校や幼・保育園で行われた今年一年の主な活動が報告されました。



1/26 幼保小中・地区同推協連絡協議会にて

うもの自体が暗いイメージとして捉えられているので、この部分も変えていこうと思えます。その他、活動の報告・お知らせを人権同和保育推進委員会通信「あかり」として発行し、同推の活動に参加できない方々にも活動内容、様子などを伝えて頂いています。

【湖山小学校】平成十八年度、十九年度鳥取市の研究指定校を受け、今年秋に二年間のまとめとして研究発表を予定しています。本年度当初、どういった形でスタートするか協議され、「もう一度本校の子どもたちの人権に関わる課題を考えてみよう」と気になった。アンケートを出しました。

【湖東中学校】人権に関わりが上手に出来ない子どもが増えています。学習以前の問題と捉えています。学校行事では三年生の平和学習(沖繩)、二年生の人権宿泊研修(大阪)、一年生の二年生へ向けての歴史事前学習などを行っています。また、障害者問題の公開学習、さらには同和問題の中の結婚差別についても講演を聞いて自分自身の問題として学習しました。

【地区同推協】先ほど地域との連携強化が上がっていましたが湖山地区の小地域懇談会は、今年十町区で行われました。とくに、小学校の教職員の方々は毎回ご出席をいただき、様々な研修に参加していただきました。幼稚園・保育園、湖東中学校の教職員の皆様やPTAの同推協の方にも積極的な参加をお願いしたいと思います。

【地区同推協】先ほど地域との連携強化が上がっていましたが湖山地区の小地域懇談会は、今年十町区で行われました。とくに、小学校の教職員の方々は毎回ご出席をいただき、様々な研修に参加していただきました。幼稚園・保育園、湖東中学校の教職員の皆様やPTAの同推協の方にも積極的な参加をお願いしたいと思います。

湖山地区小地域懇談会 (10町区で実施いたしました)



10/17 新川地区



11/16 さかえ・農高南地区

「人権と向き合うための六つの要素」に学ぶ

湖山地区同推協 推進員 塩坂 孝恵

本年度の湖山地区同推協は、「ビデオ」人権に向き合うための六つの要素をテーマに十町区で小地域懇談会を開催しました。ビデオの視点として下記の三点をおもに地区のみなさんと学習しました。

- 一、「日常を問い直す」
日常のなかで、普段あたりまえとしてきた言動や習慣、社会システムなどに人権問題の芽が潜んではいないか。
- 二、「差別や人権侵害は誰にでもおきる」
人権問題は自分の周辺でいつでも起こりうる。人権をめぐり、どんな立場にも立つ可能性があることを考える。
- 三、「人権を生活の土台にする」
何か問題があったときに「人権」を考えるのではなく、日頃から行動するとき

の基準として「人権」を意識していくことが大切である。

※ビデオの内容と感想
ビデオの内容は、DV、高齢者、障害者、報道被害、日IV、同和問題等それぞれの関係者の方が自らの体験を踏まえて人権について語られ、非常にわかりやすかった。普段の暮らしのなかで、一人ひとりが人権を意識し、振り返り、何かあったからではなく、常日頃から人権を意識する良いきっかけとなった。